



PCI 関連による合併症

出来る限り安全を計り、PCI 手技による合併症を抑えるべく行っております。PCI が危険と判断した場合、バイパス手術を信頼できる病院へ紹介するよう心掛けています。

以下のような合併症を併発しておりますが、安全域であり、他施設と比べても平均的な合併症数と考えます。

1. 待機的 PCI

	総症例数	手術成功例	重大合併症
2014年	164	161/164 (98.2%)	1.8%
2013年	150	146/150 (97.3%)	1.3%
2012年	169	166/169 (98.2%)	1.8%
2011年	165	161/165 (97.6%)	1.2%
2010年	185	183/185 (98.9%)	1.6%
2009年	140	139/140 (99.3%)	1.4%
2008年	116	111/116 (95.7%)	0.9%
2007年	112	108/112 (96.4%)	0%
2006年	90	84/90 (93.3%)	3.8%
2005年	87	83/87 (95.4%)	0%
2004年	95	90/95 (94.7%)	1.1%
2003年	95	93/95 (97.9%)	0%
2002年	95	91/95 (95.8%)	1.1%

2. 緊急 PCI

	総症例数 (急性心筋梗塞)	手術成功例	重大合併症
2014年	62 (46)	60/62 (96.8%)	1.6%
2013年	45 (28)	43/45 (95.6%)	2.2%
2012年	52 (34)	52/52 (100%)	5.8%
2011年	51 (44)	49/51 (96.1%)	3.9%
2010年	71 (46)	71/71 (100%)	2.8%
2009年	56 (44)	52/56 (92.9%)	7.1%
2008年	29 (24)	29/29 (100%)	0%
2007年	29 (23)	29/29 (100%)	3.4%
2006年	26 (23)	25/26 (96.2%)	0%
2005年	29 (26)	29/29 (100%)	3.4%
2004年	36 (32)	34/36 (94.4%)	0%
2003年	57 (40)	56/57 (98.2%)	3.5%
2002年	44 (30)	42/44 (95.5%)	0%

※ 重大合併症とは、亜急性血栓性閉塞、急性心筋梗塞、急性腎不全、緊急冠動脈バイパス術、死亡 (PCI 施行後 72 時間以内) の全てを含む。